

港区立高陵中学校

令和 5 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>①話の構成を吟味して話したり、話し手への質問を考えて聞いたりすることができる。</p> <p>②表現の仕方を考えたり、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書くことができる。</p>	<p>①話す・聞く等に課題がある。話し手の目的に応じて質問内容を捉えることや、話の内容を捉えることへの項目が、他項目と比べ低い。</p> <p>②「書くこと」に課題がある。目的に応じて話の構成を考え、自身の考えが読み手に伝わるよう表現を吟味する力が弱い。</p>	<p>①他者と意見を交流し、互いの意見の主旨や優れた点を聞き取る学習を指導していく。</p> <p>②話し手の内容をワークシート等で明らかにし、それに対する自身の考え、評価を書く学習を行う。また、吟味した内容の発表等を設ける。</p> <p>③ワークシート等で読み手を説得できるよう、文章の構成や表現の吟味について考え、意見交流を行う。</p> <p>④自分の考えがわかりやすく伝わるよう文章を吟味させ、グループで交流し、優れた点を明確にして理由を伝え合う活動を行う。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>①社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的に考察し説明したり、表現することができる。</p> <p>②諸資料を基に出題文の意図を理解することができる。</p>	<p>①社会科に対する関心意欲は高いが、学力差が大きく、基本的知識の定着に時間を要する。</p> <p>②一問一答や選択形式では正答できるが、資料を考察するなど思考力を要する問いには苦手意識がある。</p> <p>③読解力不足により、問題の意図を正確に読み取れない。</p>	<p>①日頃から資料に目を慣れさせ、「なぜ～なのか」という問いの形を意識しながら考察、思考する力を単元ごとに養う。</p> <p>②発表、パフォーマンス課題等から課題に正対する読解力、表現力を伸ばしていく。</p>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	<p>①「関数」「データの活用」の領域の問題を解くことができる。</p> <p>(思判表 C「関数」、思判表 D「データの活用」)</p> <p>②短答式の問題を解くことができる。</p> <p>(思判表 A「数と式」)</p>	<p>①「データの活用」の領域において、唯一全国の平均正答率と都の平均正答率を下回っている。</p> <p>②「関数」の領域において、全国の平均正答率と比べて+2ポイントとなっている。</p> <p>③問題形式別正答率において、「短答式」の問題が唯一、全国の平均正答率を下回っている。選択式や、記述式の問題は正答率が高いことから、基本的な問題や応用問題は解くことができるが、1から計算し解答を導く操作に課題がある。</p>	<p>①データの活用の領域において、日常生活の中から、データを見つけ出し、実際に度数分布表や箱ひげ図を作成させるような活動を2、3学期に1回以上行う。また、言葉を作業的に公式として教えるのではなく、本質が理解できるように言葉の意味を掘り下げて指導していく。</p> <p>②関数の領域において、比例・反比例から二乗に比例する関数までを1から復習し、公式として覚えさせるのではなく、「関数とは何か」「一般式がなぜそのような形になるか」など、本質を理解させるような指導をしていく。</p> <p>③授業開始時に、計算問題や、関数の一般式を求める問題など自分で計算して値を求める問題の演習を行う。また、定期的に計算テストなどを行い、定着率を確認していく。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>①自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>②観察、実験などを行い科学的に探究する力を養う。</p> <p>③自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>①基本的な実験・観察技能の習得ができていない生徒がみられた。</p> <p>②イオンの動きによる電子の動きについて考察や、定比例の法則から質量比を推測する問題など、実験・観察などの結果から規則性や関係性を見出す力に課題がみられた。</p>	<p>①実験を行う機会を多く設けるとともに、パフォーマンステストを実施し、全員が基本的な操作を習得できるように進める。</p> <p>②実際の実験データと理論値の間に生じる誤差の理由を考えたり、未知の値をデータやグラフから推測する力を養う。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<p>①曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解できる。</p> <p>②音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりを考えることができる。</p>	<p>①音楽の表現をより豊かなものにするためのペアやグループでの活動において、生徒同士のコミュニケーションの力が不足している。</p> <p>②様々な時代や国の音楽に対する興味や関心を高める必要がある。</p> <p>③音楽活動を行うために必要な知識や基本的な発声法や楽器の奏法が身につけていない生徒が見られる。</p> <p>④音楽から感じたイメージや意見を自分自身の言葉で表現し、理解を深められるような授業展開を工夫する必要がある。</p>	<p>①他者の演奏を聴いて、よいところを必ず言えるよう、評価の観点を指導する。</p> <p>②様々な時代や国の音楽に触れるようなカリキュラムを考案する。</p> <p>③基礎的な奏法、発声法を、簡単な曲を使って毎時間指導する。</p> <p>④「なぜ そう感じたのか、そのイメージをもった理由」などを発表させたり、他者の意見を聞いて、自分のイメージをふくらませられるようにする。</p> <p>⑤進捗度がわかるような振り返りを工夫する。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	<p>①課題を通して感じ取ったことや考えたことなどをとに材料や用具の生かし方を考えて、心豊かな表現をすることができる。(表現)</p> <p>②作者の意図や生活と美術について考え、対象の見方や感じ方を広げることができる。(鑑賞)</p>	<p>①達成感を味わう作品にするための知識・技能の習得がやや不十分である。</p> <p>②発想や構想を練ることが苦手な生徒が多い。</p>	<p>①基本的な知識や技法については授業の導入時や、毎単元の各段階にて再確認する。</p> <p>②アイディアスケッチの時間を十分に確保し、また多くの作例を示すことで、個々のイメージを膨らませる。</p>

	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> •各種の運動の特性に応じた技能を身に付けることができる。 •運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> •技能の評価において、自身のイメージと実際の動きに差が生じてしまうことがある。 •運動についての自他の課題を発見することや、課題の合理的な解決に向けて思考することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> •各単元に1回以上、ICT 機器を活用して、自身の動きを客観的に捉えられるようにする。 •各単元に1回以上、ペア学習やグループ学習を取り入れ、個人やグループの課題を解決する授業を展開する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ①安全・適切なプログラミングの制作、動作確認及びデバッグができる。 (D[情報の技術] 知技) ②進んで技術と関わり合い、主体的に理解し、技能を身に付けようとする。 (A～D 学びに向かう姿勢) 	<ul style="list-style-type: none"> ①「情報の技術」において、粘り強く、適切なプログラミングをすることができていない。 ②木工やはんだ付けなど工作に関する実技経験が乏しい生徒が多く、道具の適切な使用ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報の授業では、何度でも間違えられるようにし、生徒間で相談しあえるようにする。プログラミングではコーディングの発展的な内容にまで取り組み、デバッグなどにも取り組む。 ②実技においては生徒が失敗しないように各製作工程において点検を実施する。道具を使用する際には、机間指導を実施し適宜アドバイスや見本提示を行っていく。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語(英語・国際)	<ul style="list-style-type: none"> ①「聞くこと」「読むこと」の領域の問題をより正確に解くことができる。 ②「書くこと」の問題をより正確に解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る(または読み取る)問題の正答率が60%を下回っている。 ②「社会的な話題に関して、自分の考えとその理由を述べる問題」と「日常的な話題について、事実と自分の考えなどを整理して、まとまりのある文章を書く問題」の正答率が前者は40%、後者15%を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「聞くこと」の問題に関しては、問題文(日本語)自体に自身の状況を説明している文があり、それを把握しないと解けない問題を様々なパターンで練習させ、問題文を熟読する習慣をつける。 ②「読むこと」の問題に関しては、単語・熟語の習得と、英文を読んで、自身の場面・状況・目的を把握して、設問に取り組むという習慣をつける。 ③「書くこと」の問題においては、全国学力・学習状況調査で出題された問題を様々なパターンで練習させ、英文作成能力を育てる。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、自らを高めていくことができる。 ②法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのより良い在り方について考え、自分の権利を大切に、規律ある安定した社会の実現に努めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手の気持ちを考えずに、自分の気持ちを優先して友人と問題を起こす生徒が少数だが一定数いる。 ①②「自分さえよければ」・「バレなければ」いいという考えをもつ生徒が、学級の大半を占める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①事例を挙げて演習協議を行うなど、他者と協動的に活動できる取り組みを多く入れていく。 ②第三者の思いを想像させる場面を多く設定し、他者の気持ちを想像させる・予想させる設問を意図的に増やしていく。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	①集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定ができる。	①主体的に課題に向き合い、それを解決しようとする生徒が少ない。 ②集団をまとめようとするリーダー層が少ない。	①学校行事・学年行事を通し、自ら課題を設定し、見通しをもたせて解決に向かうような取り組みを行う。 ②各行事を通して、計画的に意識的にリーダー層を育成するように企画運営を行う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	①探求的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする事ができる。	①目標や課題を自ら設定して、その解決にむけて主体的・協動的に取り組める生徒が7割程度である。	①3年間系統立てた指導計画を作成し、生徒自身が今必要なことは何かを具体的に認識しながら学習に取り組めるシステム作りを行う。 ②主体的に取り組めるように iPad を活用した取り組みを増やす。